

みどりみらい 3rd Season ぐんじとしのりの議会報告

2014/06/05 Vol.57 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362

E-MAIL ID : toshigunji@hotmail.com

<http://www.mmirai.com> (HP) <http://togu.seesaa.net/> (ブログ)

平成 26 年 第 2 回 / 6 月 議会 印西市議会定例会が始まります。

今回の定例会は 6 月 5 日 (木曜日) から 6 月 27 日 (金曜日) まで行われる予定です。
(今回の定例市議会では、平成 26 年度の補正予算をはじめとする 16 件の議案審議、4 件の請願他、が審議されます。)

「ぐんじとしのり」は、6 月 9 日 (月曜日) 午後 3 時 30 分頃から、30 分間の個人質問に立ちます。
(予定) 以下に議会事務局を通じて執行部に提出した今回の質問内容を記載させていただきます。

傍聴を希望される方は、印西市役所 5 階にて諸手続きを行い、傍聴券の交付を受け、傍聴を行うこととなります。尚、定員は 36 名です。よろしくご願ひ致します。(また、インターネット議会中継を会期中は LIVE で行っています。詳細は、以下をご覧ください。また、録画中継は本会議が行われた後、概ね一週間以内に配信されます。)

・・・ <http://www.city.inzai.chiba.jp/www/contents/1195094404828/index.html>

(印西市役所の HP より、印西市議会⇒市議会からのお知らせで同画面になります。)

ぐんじとしのり 第 2 回 (6 月) 定例議会 個人一般質問内容

以下の内容を議会事務局に既に提出し、今回の議会で質問に立ちます。

1. 印西市は高齢化社会にどう向き合うか

私たちの住む印西市では、少子高齢化の進展により、独居高齢者や高齢者夫婦世帯が増え、様々な問題が今後さらに発生することが予想されます。今後、生活のしづらさを抱える人を地域で支えていくためには、各種福祉サービスは勿論ですが、家族や近隣住民の助け合い、支え合いが必要不可欠だと考えます。

町内会・自治会は、最も高齢者に身近な団体・組織であり、日常生活を送る際の不都合や危険を最も早く解決できると思いますが、印西市では近年、組織率、加入率が低下しています。

印西市では今後、更なる高齢化社会を迎えるにあたり、町内会・自治会等の地域コミュニティとどのような関係を構築していくのだろうか

- (1) 印西市内の町内会・自治会の組織率、加入率は現在どのくらいか。
- (2) 市は町内会・自治会の高齢者に対する取り組みを把握しているのか
- (3) 高齢化社会に向き合うための様々な地域コミュニティを市はどのように把握し、サポートしていくのか。

2. 教育環境の整備について

印西市では平成 26 年度の教育委員会の教育施策の基調を「健やかな心と体を育む教育」とし、学校教育においては「生きる力を持ち未来を拓く子どもを育む」とある。

子どもたちにとって望ましい教育環境の整備を行うために印西市は何を行っていくのだろうか。

- (1) 学校の統廃合については検討されているのか。
- (2) 学校現場では「小 1 プロブレム」や「中 1 ギャップ」についてどのように感じているのか。
- (3) 児童生徒の危機管理体制構築について、どのように考えているのか。

3. 印西市における「子育て支援施策」について

千葉ニュータウン中央駅周辺では新たな大規模マンションの計画が発表され、現在判明しているだけで今後 3 年間で 1193 戸の住宅販売が行われる。また、牧の原駅圏 21 住区でも今年度も住宅・

土地分譲が進み、子育て支援のためには市内全域を見据えた計画対応が求められる。

- (1) 保育園について ①現状の待機児童数はどうなっているのか。
②今後の開設スケジュールは予定通りか。
- (2) 学童保育施設について ①現状の待機児童数はどうなっているのか。
② 夏休み対応はできているのか。 ③ 児童数が大きく増えると見込まれる地域の学童保育対応について、どのように考えているのか。

4. 印西市における放射線／放射能対応について

- (1) 共同通信によると福島県の全ての子どもを対象に東京電力福島第1原発事故による放射線の影響を調べる甲状腺検査でがんの診断が「確定」した子どもがでてきているという。この報道を受けて、私のもとには不安の声が寄せられている。県内自治体では松戸市で、東電福島第一原発事故による放射線の健康不安を軽減しようと、子どもの甲状腺エコー検査に対し検査費を助成する制度を設けている。印西市でも希望者に対する甲状腺検査の助成はできないか。
- (2) 市では、安心・安全な給食を提供するため市場に流通している食材を使用することにより、安全な食材の確保に努め、給食で使用する食材について簡易型放射性物質分析機器を用いて検査を行っています。しかし、その検査は放射性ヨウ素、放射性セシウムに限られ、放射性ストロンチウムに関しても検査を求める声がある。今年度、東京都品川区が全国で初めて、学校給食のストロンチウム測定を実施し、結果についても公表している。印西市では、この内容を把握しているのか。また、同様に実施についてはどのように考えているのか。

5. 牧の原地区の将来について (* 省略)

印西クリーンセンター移転問題は今？ (中間報告)

印西クリーンセンター移転に関して、現在 印西地区環境整備事業組合から諮問を受け、検討を進めている「次期中間処理施設整備事業用地検討委員会」(以下、「委員会」と表記します。)では第11回の委員会を5月25日(日)午後開催し、検討期間を2ヶ月延ばすと決定しました。

以下、当日の決定事項をご紹介します。

- * 1次審査については、全候補地全てで用地条件を満足し、2次審査に進むとされました。(岩戸地区のみ「応募変更届け」が提出されたことにより、暴力団員に関連する土地かどうかの調査が未了の為、除外の可能性は残る。)
- * 2次審査については詳細な点数評価は次回の委員会で検討されることになりましたが、全ての候補地が3次評価に進むことが決定されました。(=以下、審査結果案であり、当日の委員会で事前に行った「委員アンケート」を集計し、総合的に採点した結果を暫定的に加えた結果です。)

2次審査：100点からの減点評価 2次審査結果(案/暫定値)
(施設の建設・運営に適さない用地を評価する視点での評価です。)

岩戸地区 -36/滝地区 -37/武西地区① -37/武西地区② -55/吉田地区 -30/現在地 -26

- (1) 2次審査では「自然環境等の保全」が評価されるので、印西市の自然環境を考えると都市部である「現在地」の評価はマイナス評点が出づらいことになっている。(現在地を除く5地点で「猛禽類」の生息・営巣が確認、あるいは推定されるためマイナス評点がされています。)
- (2) (2次審査がまだ終了していませんが) 3次審査では「加点評価」となるので、既にマイナス評価の大きい場所(可能性が低い場所)については、住民の協力がなければ加点はされないので「候補地」になる可能性は低い。

今後も動きを注視していき、新しい情報があれば、この紙面でお伝えしていきます。

この紙面へのご意見に限らず、市政全般へのご提言、ご批判、皆様からのご相談はいつでも承ります。市政の最新情報を求める方は私のブログ(検索画面で「ぐんじとしのり」)をご覧ください。市民参加のまちづくりを引き続き、皆様と行ってまいります。宜しく申し上げます。

ぐんじとしのり